

ブームへのグリース給脂について

ATF シリーズの ESP ブームにおいて、グリース塗布を怠った結果、ブームの異常摩耗や非常操作時にブーム内 B・C ピンユニットが損傷する事例が発生しています。

取扱説明書を確認し、適切なグリース給脂を実施願います。

不具合事例

①ブーム伸縮完了までに時間が掛かる、または完了しない。

⇒ブーム上面スライドプレート(図1)、ブーム側面、下側摺動部(図2)、Bピン部(図3)へのグリース給脂不足により発生。

例として、TOPブームを伸長時、グリース給脂不足が原因でTOP以外のブーム(2、3、4、5段)がピンのガタ分だけ同時に伸び、伸縮シリンダの長さを実際のB・Cピン穴位置とがずれてしまい、B・Cピンが入りにくい状態となります。

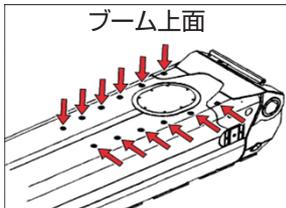
②ブーム伸縮時の段付き・異音発生。

⇒ブーム上面スライドプレート(図1)への給脂不足により発生。

ブーム伸縮時、ブーム上面スライドプレート部には高い面圧がかかっています。この部分へのグリースが不足すると伸縮時の段付きや異音が発生します。

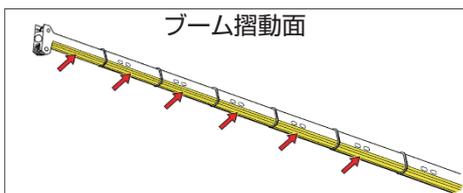
給脂間隔・場所・グリース銘柄

図1



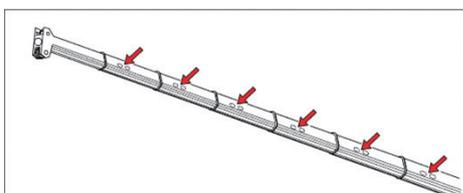
①ブーム上面スライドプレート
給脂間隔:毎週
グリース銘柄:TNR(タダノ純正)

図2



②ブーム側面、下側摺動部
給脂間隔:1か月または100時間
グリース銘柄:TNR(タダノ純正)

図3



③Bピン
給脂間隔:毎週
グリース銘柄:NEW-SL PM-70#2

メンテナンス方法や給脂箇所は機種ごとに異なります。詳しくはご使用機種の取扱説明書を参照ください。グリース給脂は摺動部分の摩耗を抑え、機械の寿命を延長するとともに、スムーズな作動をするために必要な作業です。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成